

平成26年3月期
第2四半期(中間)決算説明資料



平成25年11月

ハイライト	2頁	財務の状況【単体】	8頁
損益状況【単体・連結】	3頁	新サービスの状況	9頁
損益状況【単体】	4頁	海外送金拡大に向けて	10頁
ATM利用件数と受入手数料単価の推移	5頁	FCTI 計画と実績	11頁
ATM台数と平均件数の推移	6頁	FCTIIによるATM事業買収・ATM台数の推移	12頁
ATM事業の拡充	7頁	配当政策	13頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
 (http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/)

本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

【 2013年度中間決算 】

[単体]

- 経常収益(499億)、経常利益(197億)ともに計画を上回り、前年同期比、増収増益
 - ・ 設置台数は計画を上回り、総件数増加に寄与
 - ・ ノンバンク利用件数は順調に伸長

[連結]

- 経常収益(522億)、経常利益(193億)

【 2013年度の見通し 】

■ 当初計画を据え置き

- ・ ATM提携銀行の顧客手数料引上げ等の影響から、利用件数は下方修正、一方ATM受入手数料単価は上方修正
- ・ ATM設置台数は当初計画から上方修正し、2014年3月末に19,400台を見込む
- ・ 米国FCTIIは新たにGlobal Axxess Corp.のATM事業を買収、約7,500台のオペレーション体制構築へ

《 セブン銀行単体 》

(単位:億円)

	2012年度 上期	2013年度 上期	前年差異	2013年度 通期計画
経常収益	467	499	32	990
経常費用	302	302	0	635
経常利益	165	197	32	355
当期純利益	100	121	21	214

注) 計数は全て表示単位未満切捨て

《 連結 》

(単位:億円)

	2013年度 上期	2013年度 通期計画
経常収益	522	1,041
経常費用	329	694
経常利益	193	346
当期純利益	116	207

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 為替レートは、2013年度上期決算を1米ドル=95.73円、
2013年度計画を同92.00円にて換算

注3) 13年度通期計画はGlobal Access Corp.の事業買収分を含まない

《 参考:各社連結対象期間 》

	 セブン銀行	 FCTI NATIONWIDE ATM NETWORK
2013年度 中間期	2013年4月～9月	2013年1月～6月

損益状況【単体】

(単位: 億円)

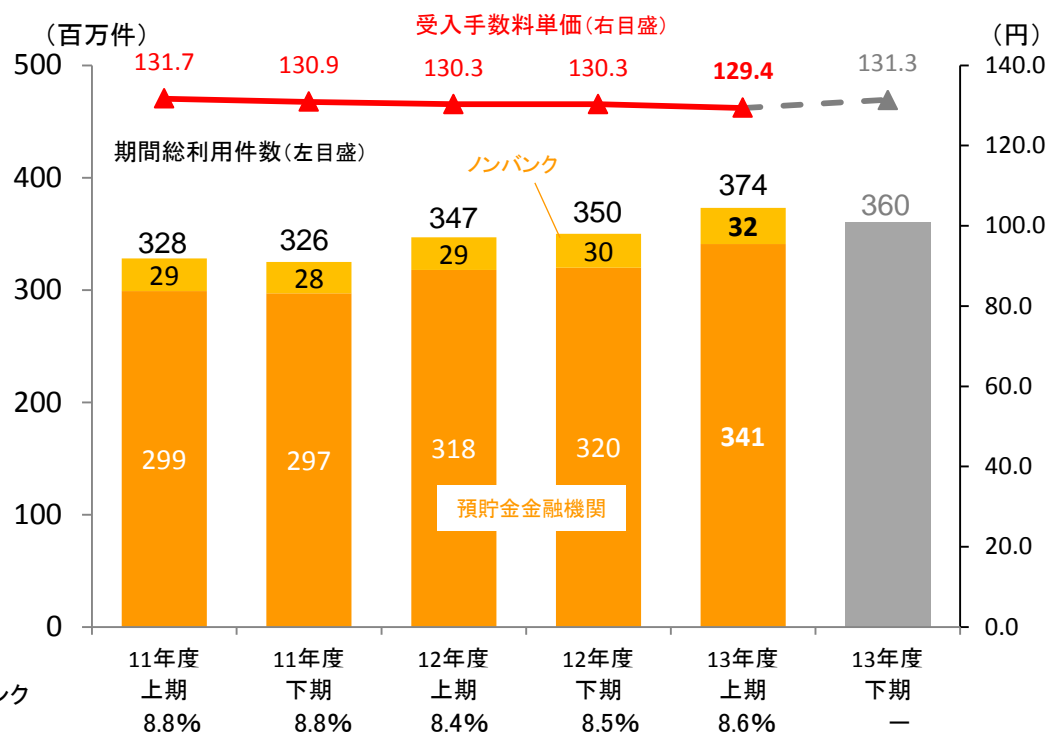
	12年度 通期実績		13年度 期初計画		13年度 上期実績			13年度 計画 (11月8日 時点)
		上期実績		上期計画		前年差異	当初計画 差異	
経常収益	941	467	990	496	499	32	3	990
うちATM受入手数料	888	442	935	470	473	31	3	935
経常費用	620	302	635	317	302	0	△ 15	635
うち資金調達費用	16	7	18	10	9	2	△ 1	18
うちATM設置支払手数料	106	52	115	57	57	5	0	114
うち業務委託費	158	77	171	87	82	5	△ 5	166
うち保守管理費	39	20	40	20	18	△ 2	△ 2	38
うち土地建物機械賃借料	9	4	6	3	3	△ 1	0	6
うち減価償却費	138	62	129	60	54	△ 8	△ 6	123
経常利益	320	165	355	179	197	32	18	355
特別損益	△ 5	△ 2	△ 9	△ 1	△ 1	1	0	△ 8
法人税等合計	119	62	131	67	74	12	7	131
当期純利益	195	100	214	110	121	21	11	214
期末ATM設置台数(台)	18,123	17,330	19,300	18,600	18,844	1,514	244	19,400
ATM受入手数料単価(円)	130.3	130.3	128.7	129.4	129.4	△ 0.9	0	130.3
平均利用件数(件/台/日)	111.1	112.7	109.4	110.9	111.3	△ 1.4	0.4	107.4
総利用件数(百万件)	698	347	742	371	374	27	3	734

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

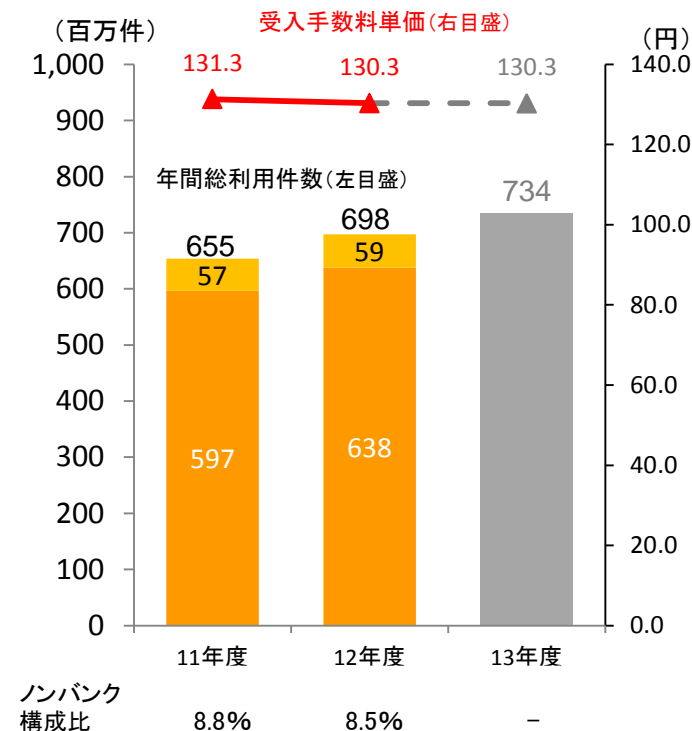
注2) 前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

- 上期総利用件数は前年度比 +7.7%の374百万件
- 預貯金金融機関取引 +7.4%、ノンバンク取引 +10.2%

半期推移



年度推移



注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

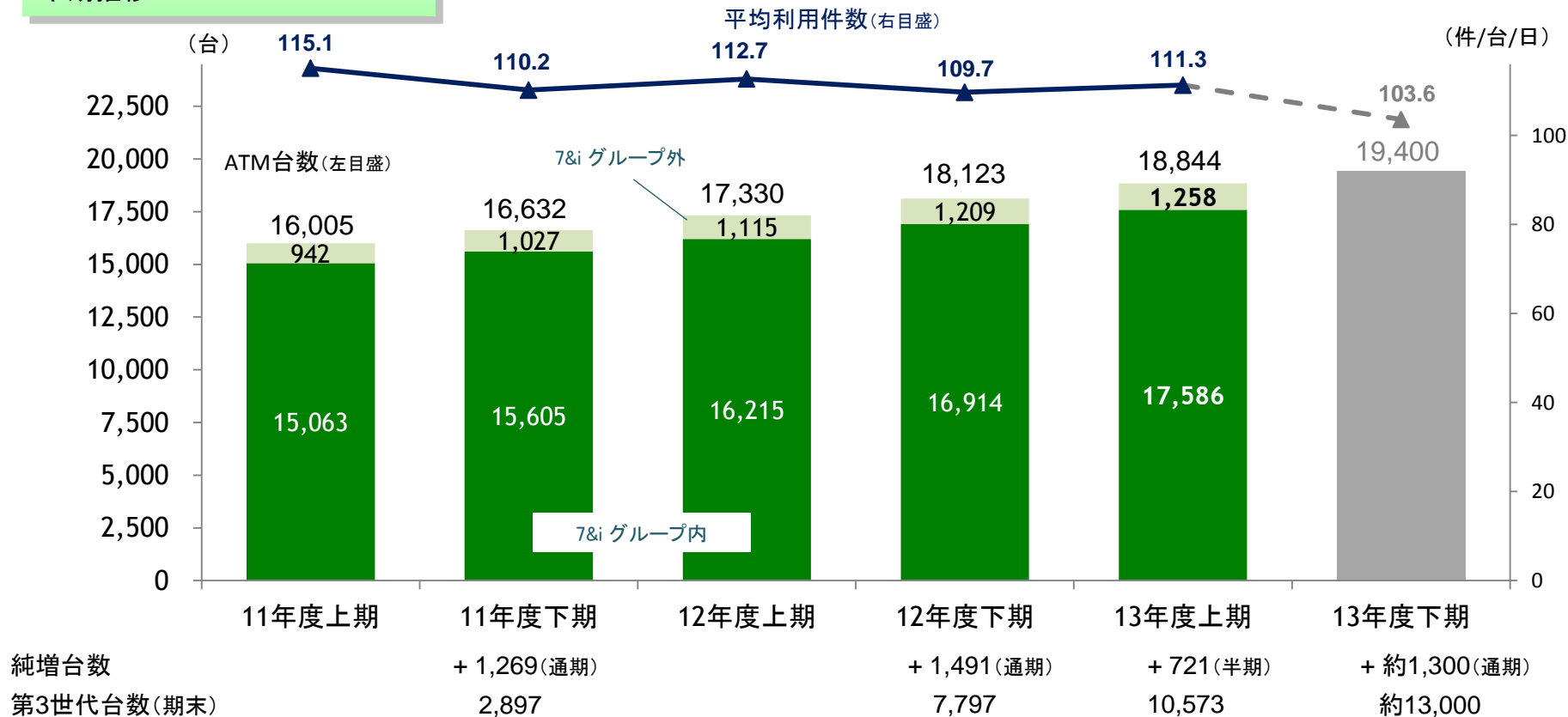
注2) 計数は全て表示単位未満切捨て

注3) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出

注4) 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

- ATM台数はグループ内外とも順調に増加
- 13年度は純増約1,300台を見込む。第3世代ATMは、新設・入替含め約5,000台増加

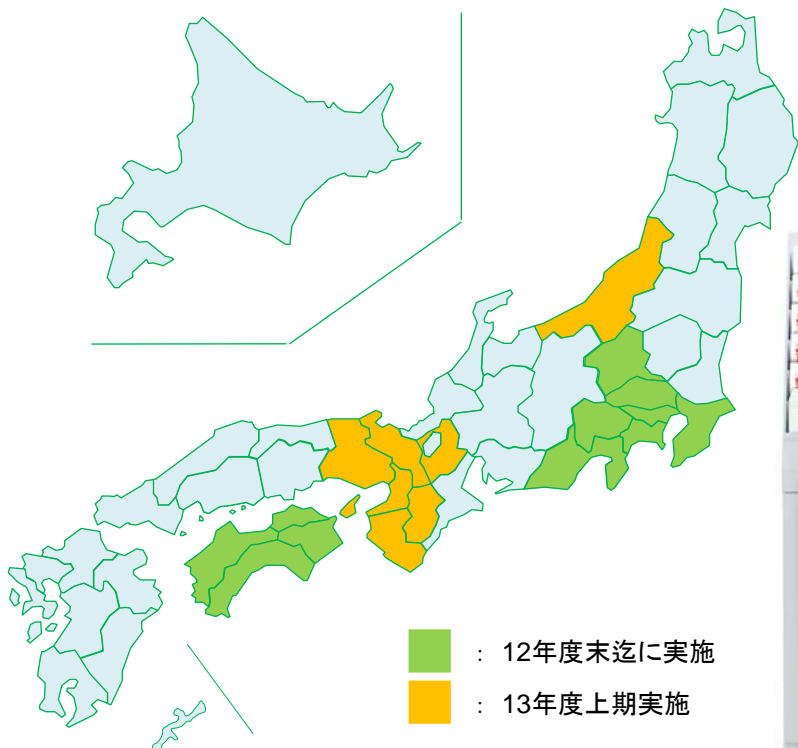
半期推移



注1) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2) 計数は全て表示単位未満切捨て

第3世代ATM入替を促進し更なる利便性を追求

- ・取引時間短縮や省電力化等、お客さま・社会のニーズに適合したATMの積極展開



《 第3世代ATM 》

多様なニーズに対応し、ATM設置を推進

十六銀行 高山駅前支店内へのATM設置

- ・海外カードが利用できるATMとして外国人観光客の現金需要に応え、十六銀行高山駅前支店内に、都市銀行、地方銀行では初めて当社ATMを設置



グループ外設置(除く証券会社等)の拡大



貸借対照表(2013年9月末)

(単位:億円)

現金預け金 4,918 ①	預金 4,000 ④
有価証券 1,105 ②	社債・借入金 1,730
ATM仮払金 885 ③	ATM仮受金 407 ⑤
その他 861	その他 181
	純資産 1,451

資産 7,769

負債+純資産 7,769

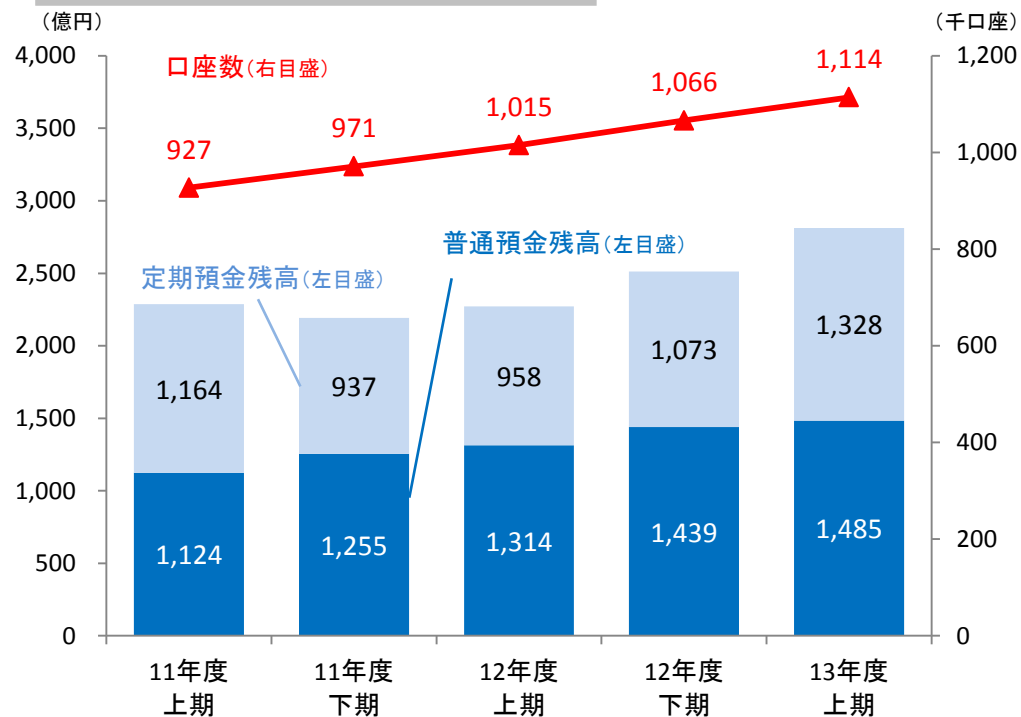
- ①主にATM装填の現金
- ②主に為替決済、日銀当座貸越取引の担保として使用
- ③ATMの出金に伴い一時的に発生
- ④うち個人預金:2,814億円、法人預金:647億円
- ⑤ATMの入金に伴い一時的に発生

注)表示単位未満切捨て

高い財務健全性と信用力

単体自己資本比率(国内基準) 54.09% (速報値)
 格付(2013年9月末現在) S&P AA- (長期発行体)
 R&I AA (発行体)

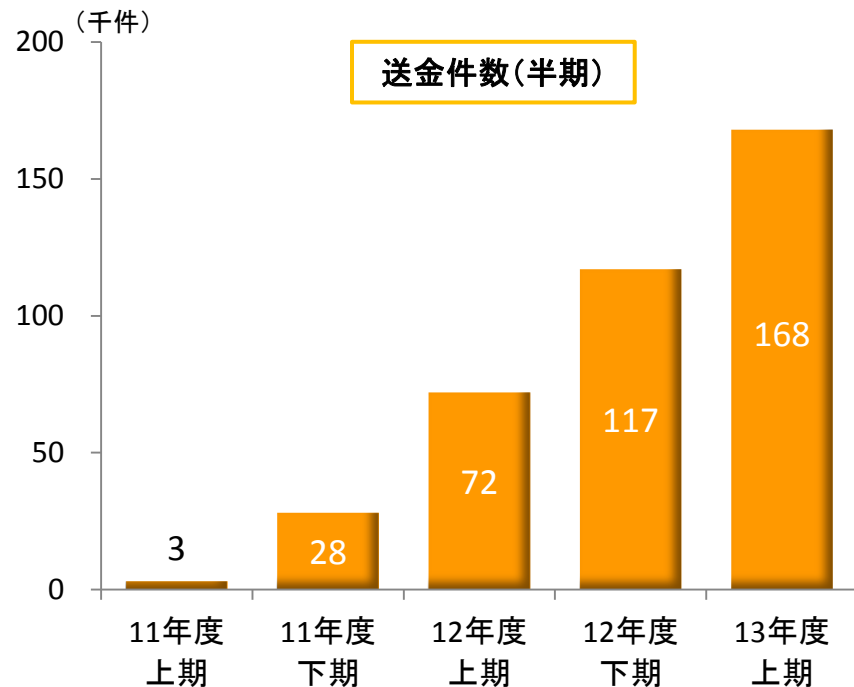
個人の口座数と預金残高の状況



海外送金サービス

- ・ イベント活動や多言語化対応等を実施
- ・ 当面の目標である送金件数年間100万件 (収益規模20億円) に向け新規顧客獲得に注力

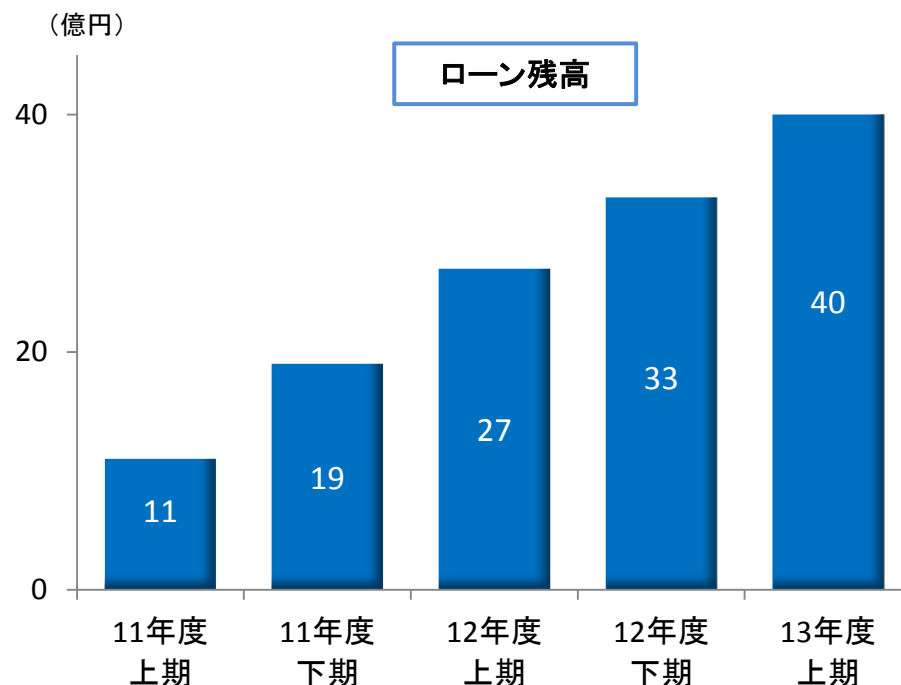
13年度目標件数 : 370千件



個人向けローンサービス

- ・ 低コストで効果的な顧客アプローチによりローン残高は着実に増加
- ・ 当面の目標はローン残高80億円 (収益規模12億円)

13年度目標残高 : 50億円



- 事業規模拡大へサービスの差別化を徹底し、送金件数・収益増加を図る

勧誘

申込・利用手続き

利用促進

職域営業

各イベントへ参加

WEB

有人店舗

名古屋・栄出張所

キャンペーン等

多言語化対応

海外送金
カスタマーセンター

- ・2014年1月に適用予定。ATM画面が9言語対応に

【ベトナム語】

【タイ語】



- ・2013年10月1日に中京地区へ初の有人店舗を開設
- ・海外送金のお客さまを中心に契約者数拡大を目指す



- ・9言語での対応により、申込から契約までがスムーズに進行し、ご利用までの期間が大幅に短縮

■ ATM設置台数が順調に伸長しほぼ計画線で推移

FCTI損益状況

(単位:百万米ドル)

	12年度 通期実績 (連結対象期間)	13年度		
		上期(1月~6月)		通期計画
		計画	実績	
経常収益	10.5	23.4	23.8	55.8
経常費用	10.4	23.2	23.2	53.7
経常利益	0.1	0.3	0.6	2.0
当期純利益	0.1	0.3	0.2	2.0
ATM台数(台)	2,542	2,833	3,032	3,300



注1) 計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 13年度通期計画はGlobal Access Corp.の事業買収分を含まない

注3) 12年度通期連結決算には、FCTIの連結対象期間(2012年10月6日~2012年12月31日)のみ連結

■ フロリダ州のGlobal Access Corp.のATM事業を買収し約7,500台体制へ

ATM事業買収(現地時間2013年9月27日)

Global Access Corp.

所在地	フロリダ州ジャクソンビル
ATM台数	約4,500台

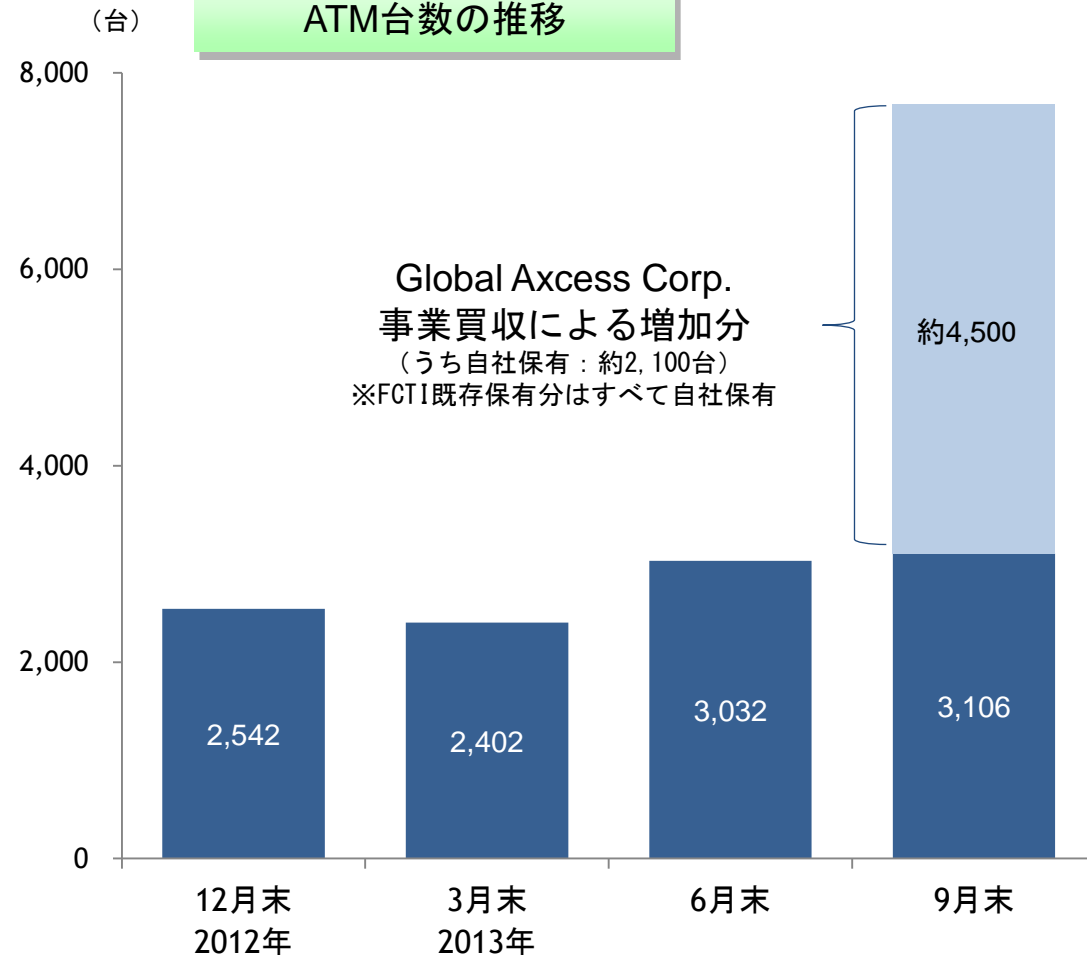


- FCTI運営のATMと合わせて約7,500台へ
- 米国東地区に新たに拠点ができ、かつコンビニやスーパー中心の設置
- コンビニATM事業に精通する人材を確保



米国でのATM網を確立し
さらなる事業拡大に向け体制構築

ATM台数の推移



方針

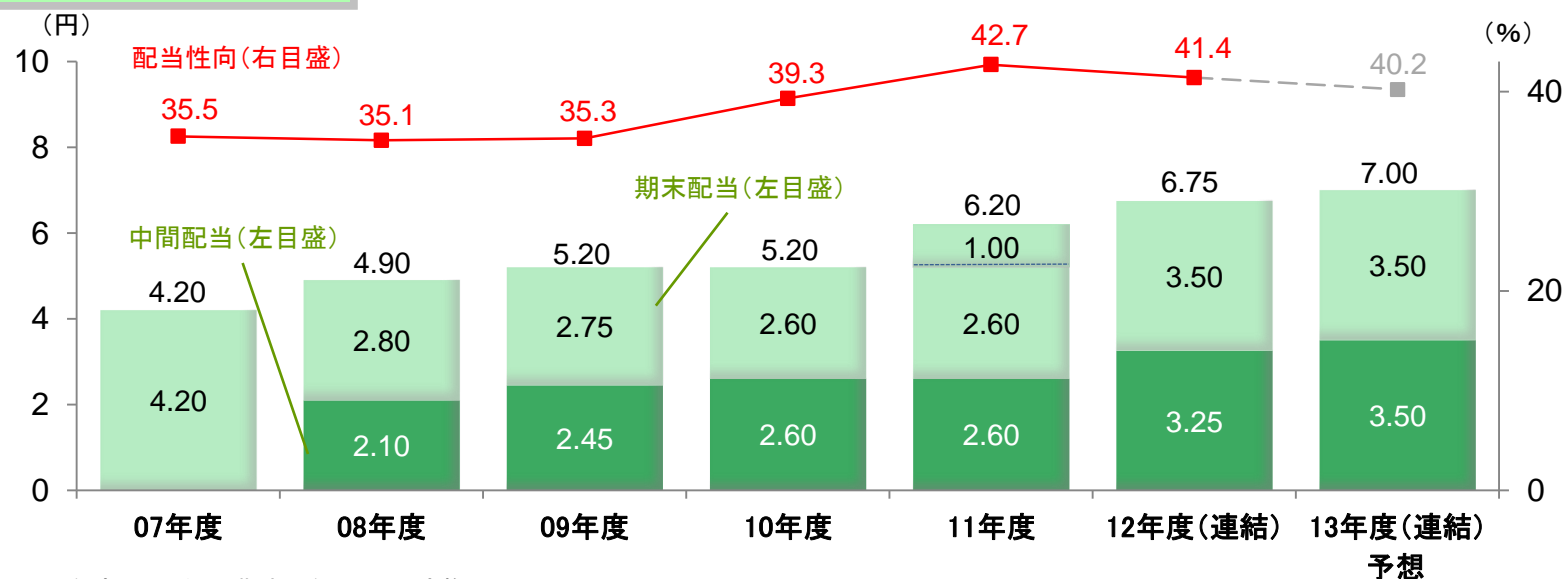
継続的な安定配当の実現を目指し、連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回配当を実施

中間配当

配当金額 : 1株当り3.5円(配当総額41億円)・・・期初計画通り

支払開始日 : 2013年12月2日

配当金、配当性向の推移



注1) 2008年度から、中間・期末の年2回配当実施

注2) 2011年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施しており、上表は、過去の配当についてもこの分割を反映して計算したもの

注3) 2011年度は期末配当に1.00円の東証上市記念配を上乗せ、2012年度は期末配当に0.25円増配